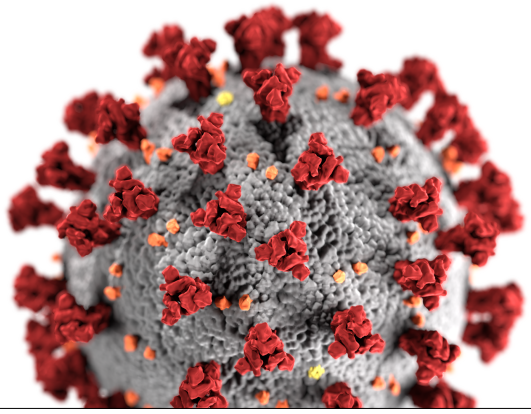
新型グループライド

2020.10.30
クリティカル・サイクリング
情報科学芸術大学院大学（IAMAS）
赤松正行

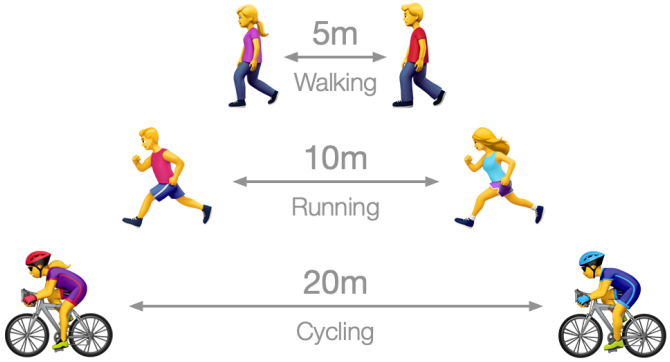
自転車に乗ることを楽しみ、自転車の批評性を考える任意グループ、クリティカル・サイクリングが行なっている新型グループライドについてご説明します。このグループは情報科学芸術大学院大学の学生や教員、そして興味を持たれた関係者で構成されています。

新型コロナウイルス



さて2020年初頭より全世界を襲った新型コロナウイルスの猛威は、私たちの生活を完全に変えてしまいました。感染を避けるために好きな場所に出かけることはできず、家族や友人と話をすることすら注意深くならざるを得ません。

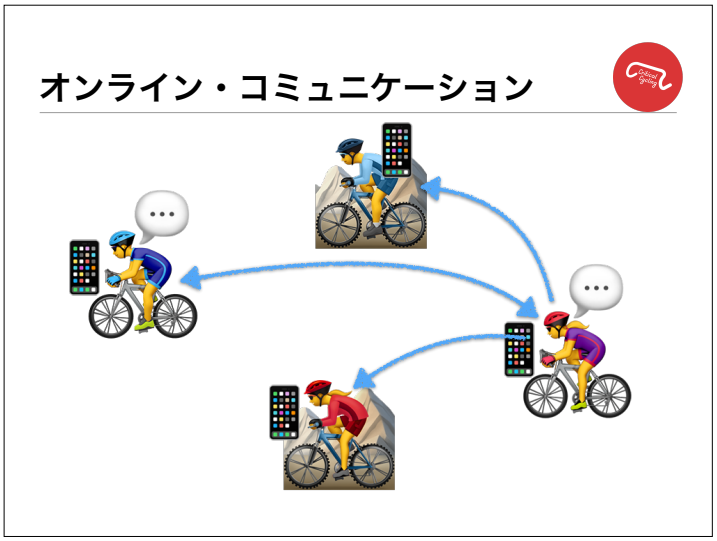
ソーシャル・ディスタンス



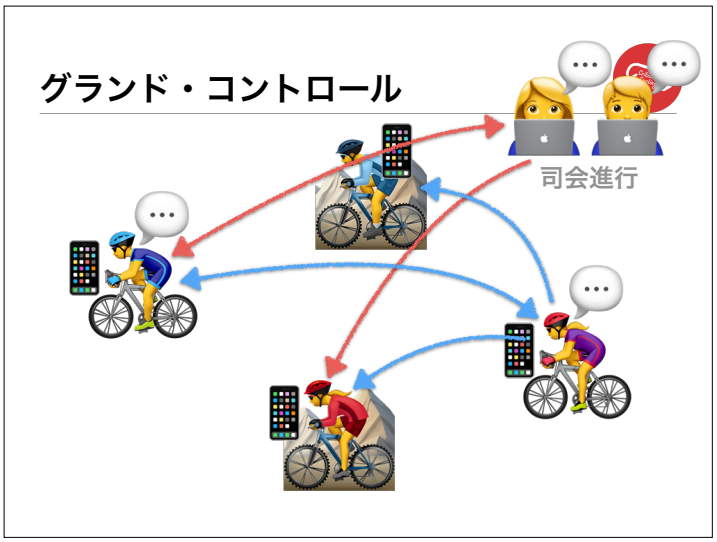
具体的な感染予防策のひとつにソーシャル・ディスタンスがあります。これは相手との距離を取ることで、一般に2mと言われますが、歩いている場合は5m、走っているなら10m、そして自転車に乗っているなら20mの間隔が必要とする研究もあります。

しかし、20mもの間隔を開けるのであれば、これまでのようなグループライドはできません。感染を避けるためには集団での行動は避けることになります。同じ理由で各地のレースやイベントが中止されています。

そこで新型グループライドと呼ぶ新しいイベントを実践しています。何人かの参加者が一緒に走るにも関わらず、感染リスクはありません。それは不可能に思えますが、実際に何度か実施して、大きな成果を上げています。



それは参加者がオンラインで話をして、映像を送り合うことで、グループとしての一体感を持つことができるからです。参加者同士はそれぞれ遠く離れた場所にいても、一緒にライドをしている気持ちになれます。

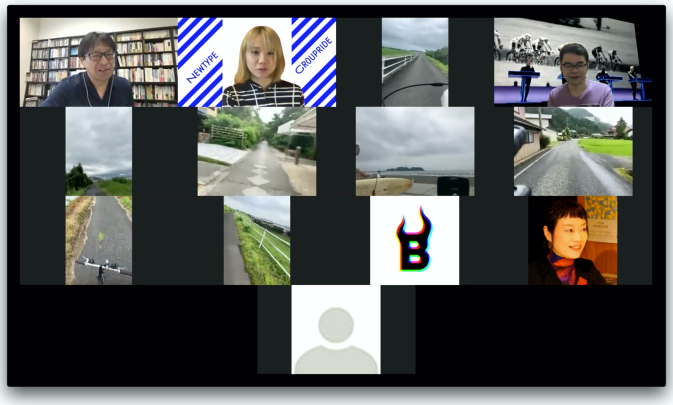


また、イベントのスムースな展開のために、自転車に乗らない司会進行役を置きます。司会進行は参加者全員の状況を中継し、会話を促し、行動のヒントを与えます。自転車に乗っているとイベント全体の様子が分からないことを補うことになります。

さて、新型グループライドはスマートフォンがあれば参加できます。自転車にはスマートフォン・ホルダーで固定すると使い勝手が良くなります。長時間の使用にはモバイル・バッテリーが必要で、イヤフォン・マイクがあれ会話がし易くなります。

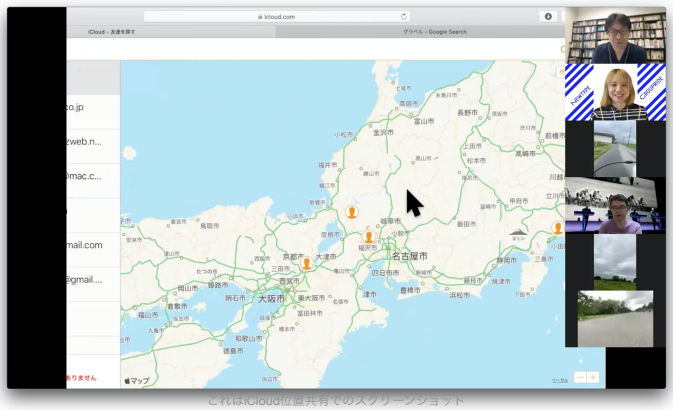
スマートフォンではビデオ会議アプリで会話をし、カメラの映像を送ります。また、それぞれの居場所を伝えるための現在位置を共有するアプリも利用します。いずれも操作は簡単で、思い立てばその場で加入できるほどです。

ビデオ会議サービス（Zoom）



ビデオ会議にはZoomを用います。参加者同士や司会進行役と自由に話をし、全員を表示したり、話をしている人を拡大表示したりすることができます。マイクが風に吹かれるノイズを低減するなど自転車に適した機能も備えています。

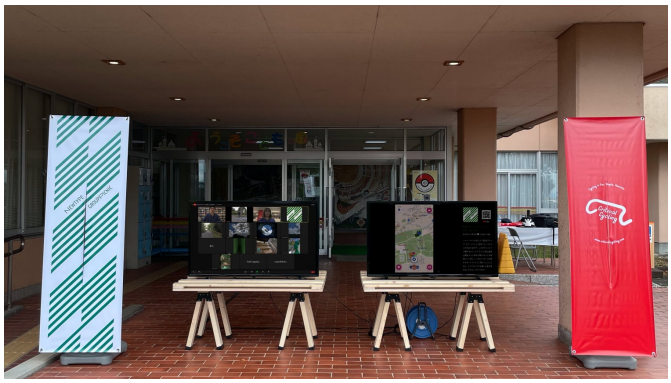
位置共有サービス（Zenly）



これはiCloud位置共有でのスクリーンショット

位置の共有にはZenlyを利用します。全体を見れば各地の参加状況が分かり、拡大すれば
各自の動きが分かります。偶然近くに居る人に近付いたり、気になる場所にいる人に様子を尋ねたりといったことも起こります。

配信サービス（YouTube Live）

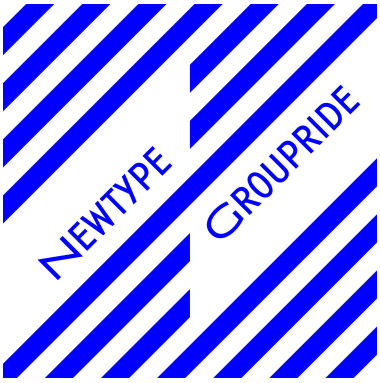


視聴者が多い場合にはZoomの映像と音声をYouTubeでライブ配信します。また、大型のディスプレイを置いたライブ・ビューイング会場を設けることもあります。この会場ではマイクを設置して、通りかかった人もイベントに参加できるようになっています。

これまで実施実績

- 2020年4月19日
- 2020年4月25日
- 2020年7月23日
- 2020年10月24日
  新型グループピクニックと銘打って実施

続く…



これまでに新型グループライドを、非公開のテストを含めると10回以上開催してきました。いずれも開催時間は2時間程度としています。参加者は数人から十数人、視聴者は多い時で100人程度でした。

参加者の声

- 他の人と一緒にいる感覚があった。
- いろいろと想像が膨らんだ。
- 知らない場所に行きたくなった。
- 峠で電波が切れて焦った。
- 一人で走るより楽しい。
- 道ゆく人に声をかけられた。
- お気に入りの場所を紹介できた。
- 自転車のコツを教えてもらった。

などなど…

これまでの開催では事故やトラブルは発生しておらず、参加者からは概ね高い評価を得ています。特に、いつでもどこでも気軽に参加できることが好評で、知らない場所を見聞きしたり、懐かしい人と再会することもありました。

今後の展望

- 実施方法の整備
- 自転車装備の改善
- 通信環境の研究
- 多様な進行実施
- 全世界的な展開
- 同時多発的な実施

などなど…

新型グループライドは半年以上の実践によって、アイディアとノウハウを蓄積してきました。これはニューノーマル時代における新しい自転車の魅力に繋がると確信しています。そこで今後も様々な観点から新型グループライドを企画して実施する予定です。